

事業所における自己評価結果(公表) 【放課後等デイサービス】

公表: 令和6年 1月31日

事業所名:ハート愛

チェック項目		はい	どちらともいえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか		○		・児童の特性に応じてダイナミックな活動を推進することが多いため、クールダウンをはじめ、広い空間を必要とすることがあるが、法人内の共有スペース等を使うことで解決を図っている。 ・日々の利用人数が定員の10人に近づいているため、机の配置などの工夫でスペースの有効活用をしている。	・状況によっては若干不足気味のクールダウンのためのスペースは、今後法人全体の将来構想の中で改善を図りたい。
	2 職員の配置数は適切であるか		○		・配置基準は満たしているが、その日の児童の状態や特性によっては職員が少なく感じることもあるため、活動内容やシフトの工夫等に対応している。 ・事業所が、送迎が必須の場所にあるため、法人内の公用車の配車の工夫等で事業運営に支障が無いようにしている。	・職員配置については、より質の高い支援ができるよう、人数、資質向上(資格取得等)を今後も図っていく。
	3 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか		○		・今のところは肢体に不自由のある児童はいないので手すりやスロープの設置程度で対応できている。 ・トイレは広い空間を確保できており車いす等対応できるようになっている。量的不足があるため、児童の利用に支障が無いように時間差を設けるなど工夫している。 ・現在ある設備で工夫をしている。不具合が生じた際は、全員で検討し改善策を考えている。	・肢体に不自由はなくても、ソフト面での合理的配慮等の必要な児童のための工夫を続けること。及びハード面の整備については、随時法人内で検討してもらい整えていく。
業務改善	4 業務改善を進めるための、PDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか		○		・その日の活動の反省や良かった点等の話し合いを職員同士でやっている。その際、反省だけで終わらないようにしている。	・ファイルしているこれまでの活動記録の反省を、着実に振り返ることで、積み上げを図りたい。
	5 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか		○		・毎年、保護者の要望・意向等を基にして対応(フィードバック)し、改善ができています。(避難訓練等のより丁寧な報告等)	
	6 この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか		○		・毎年公開資料を紙媒体で保護者に配付するとともに、法人のホームページに開示するようにしている。	・現在のホームページ掲載と、事業所御利用児童の保護者への紙媒体配付のほかに、法人の紙媒体(『便利』等)の活用も考えたい。
	7 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか		○		・監事に現場を見ていただくとともに、自己評価結果、保護者評価結果等の資料も添えて、口頭で評価をいただいている。	・監事の御都合もあると思うが、年度初めに計画を立て、様々な場面の参観をしていただくようにしたい。
	8 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか		○		・事業所内研修、研修会への参加を行っている。 ・何よりもOJTを大切に資質向上に努めている。	・障害福祉現場のみならず、特別支援教育現場も積極的に活用したい。
適切な支援の提供	9 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか		○		・児発管を中心に、随時アセスメントを丁寧に行うとともに、標準検査結果等も参考にしながら計画作成に当たっている。	
	10 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか		○		・毎年、S-M社会生活能力検査を年度初め若しくは御利用開始時に、職員や保護者に評価してもらっている。	・標準化された検査は引き続き行い、さらに分析的視点を持って実践に生かしたい。
	11 活動プログラムの立案をチームで行っているか		○		・プログラム作成担当が作った原案を、全職員で検討した計画を、活動担当が分担・協力して行っている。	・原案作成になるべく早めに取りかかり、話題共有の時間的余裕を持つようにしたい。
	12 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか		○		・ガイドラインをさらに細分化し、9分野(今年度『認知』分野追加)に分けて、月の特徴を生かしながら1か月のプランを立てている。	・月の特性により、分野の比率は毎月異なるが、月ごとのそして年間の分析を今後も続けたい。
	13 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか		○		・土曜、長期休業中はまとまった時間が必要な活動、平日は積み上げが必要な活動を単元化して構成している。	・多くの時間を要する活動、継続的取組を必要とする活動など、今後、よりメリハリを付けて臨みたい。
	14 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか		○		・『活動』では、テーマに基づいた集団活動を軸としながら、その中で個別対応をし、『活動』時間以外では個別活動を保障している。	・今年度導入した『認知』分野を個別対応の中で、より深めたい。
	15 支援開始前に職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか		○		・できるだけ打合せをするようにしている。 ・直前になってしまう日もありますが、できるだけ事前に打ち合わせするよう心掛けています。余裕を持って行えるようにしていきたい。 ・できていない日もあるので、連携がとれるように必ず行うべきである。	・活動の特性により、多くの打合せを必要とするもの、少なくともやっていたりしているものがある。今後もしっかりと見極めて臨みたい。
	16 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気づいた点等を共有しているか		○		・できていない日とできていない日があるが、振り返りをしたり、活動案の反省にはサブからの助言ももらっている。 ・みんなで振り返りができない日もあるが、支援日誌の反省でサブからの意見ももらうようにしている。 ・できていない職員とできていない職員がいる。送迎などで不在のときは伝言する。 ・送迎等あり全員で行うことが難しくても翌日に掛けて振り返りをして共有している。	・活動担当以外にサブの記録(反省)も残して、より多くの意見が残されるようにしているが、次回同様の活動にこれらを次の担当がしっかりと生かしていくようにする。 ・児童の示すような行動も発達に向けての節目ととらえるようにし、職員で共有するようにする。

	チェック項目	はい	どちらとも いい いい	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○		・記録は取っているが、反省の共有までできていないところもあるので、改善につなげられるようにしたい。	・日々の記録については担当職員が記述するが、合わせてサブの職員も記述し、必要に応じて全事業所職員で共有するようにする。
18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○		・常時、職員間で情報共有をした上で、児発管及び児童担当がモニタリング会議に出席し、計画の見直しについて精査するようにしている。	
19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせて支援を行っているか	○		ガイドラインの基本活動をさらに細分化し、各活動で決めたテーマの中でそれらを有機的に単元化して、生活に般化しやすいように工夫している。	・児童の課題をしっかりと分析して、活動の単元化を進める際にさらに必要な基本行動を有機的に統合していきたい。

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
関係機関や保護者との連携	20 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○			児発管及び該当児担当が中心になって、参加するようにしている。もちろん、全職員の事前の情報共有を前提にして。情報共有については、これまで同様電話・郵便等を使って行っている。	
	21 学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	○			・送迎時に担任からその日の児童の体調や行動を聞くようにしている。スケジュール的なことなど、文書、電話等で共通理解を図るようにしている。コロナも沈静化し、職員全員で学校訪問をさせていただいた。	・5類移行、直接交流がやりやすくなっている。6年度はさらに日常的情報共有に努めたい。
	22 医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	○			・現在は医療的ケアが必要な児童は在籍していない。一時的病気の服薬(与薬?)は保護者との緊密な連携の下、行っている。	
	23 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	○			・地域の児童発達支援事業所と情報交換をしながら進めている。	・「夢すこやかファイル」が、ダウンロードできるようになっているので、存在をご存じない保護者には、紹介し、より質の高い情報共有に努めたい。
	24 学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	○			・必要に応じて行っている。	・情報共有の質を高めるために、「夢すこやかファイル」の使用をこれまで以上に進めるようにする。
	25 児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○			・毎年、やまびこ医療福祉センターから定期的に指導を受け、支援の質の向上を図っている。また、事業所内の研修に児童発達支援センター職員による講話をいただくこともできた。	・やまびこ医療福祉センターによる指導及び発達支援センターから職員を招聘しての研修は今後も継続して行う。
	26 放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	○			・今後は交流会ができるように計画していきたい。 ・コロナ禍以前で練っていた計画を実施できるようにしたい。 ・現在は実現できていない。	・5類移行、直接交流がやりやすくなっている。6年度はさらに日常的活動共有に努めたい。
	27 (地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	○			・児発管、管理者、当法人内の相談支援専門員が参加している。	
	28 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○			・送迎の際、保護者に状況をお伝えするよう心掛けています。 ・担当職員が中心となって、都度話し合い、全員で把握できるようにしている。	
保護者への説明責任等	29 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレントトレーニング等の支援を行っているか	○			・ベアトレに近い支援を行っている。実施支援という形 ・保護者・職員合同研修会や保護者の集い等で、若しくは個人的に必要に応じて情報提供、助言等を行っている。	・学校関係、福祉関係等の専門家を招聘し、保護者が希望を持って子どもと関わるための支援を続けたい。
	30 運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○			・児童発達支援管理責任者を中心に、利用開始時に若しくは必要に応じて説明している。	・日頃の業務を通して全職員が説明できるよう、相互研修に努める。
	31 保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○			・相談があった際、その児童の担当だけでなく、全員で共有し、誰でも対応できるようにしている。	・これまで同様、Y医療福祉センターとの連携により、より質の高い支援や助言が行えるようにする。
	32 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	○			・計画的に保護者会等を計画し、保護者同士の情報共有の機会を作り、好評を得ている。	・児童の成長とともに、将来のこと、進路に関すること等へのニーズが高まっているため、次年度は卒業生保護者の協力も得て進めたい。
	33 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○			・苦情とまではいなくても、要望等については絶えずアンテナを高くして迅速な対応を心掛けている。	・アンテナを高くして、迅速な対応を心掛けたつもりだったが、保護者評価によりまだ十分でないことも分かったため『語り合い』をさらに充実したい。
	34 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○			・週報、月報を作成し発信している。 ・急ぐもの等については、SNS等も活用している。 ・法人の季刊の便りも定期的に配付している。	・これまで以上に早めの発信(余裕を持った発信)を心掛けた。
	35 個人情報に十分注意しているか	○			・全員に共通する情報はしっかりと守り、個人(保護者・児童)によって判断が異なることについては、『「人権擁護ハンドブック」等活用し、年度初め若しくはその都度調査・確認しながら対応している。	
	36 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○			・『相互障害状況』により関係がぎくしゃくしないように、絶えず『分かりやすい環境』作りに努めている。	・これまで以上に環境の構造化等に努めるようにする。
	37 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	○			・4年ぶりに法人の『秋祭り』に外部の方を招待して実施できた。 ・秋祭り、ボランティア花壇等限られた人ではあるが、交流ができた。	・地元の方に目をいただき、本年度開始した『餅つき大会』など地元の方と関わる行事の計画的運用を図りたい。

	チェック項目	どちらとも いいえ		工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
		はい	いいえ		
非常時等の 対応	38 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	○		・『児童捜索マニュアル』『感染症対応マニュアル』『防災マニュアル』等作成し、保護者に配付している。	・マニュアルに基づいた訓練等の結果を今後も発信することで、保護者の安心感を得たい。
	39 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○		・避難訓練の反省を保護者に配っている。 ・計画案、反省点を訓練の参加の有無にかかわらず配付している。 ・年間計画に基づき実施している。	・避難方法等、毎回の反省に基づき改善を重ねているが、今後もよりよい方法を探りたい。
	40 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○		・事業所内研修で、管理者による指導とともに、研修受講者による伝達研修を行っている。	・具体的な事例を基に、未然に虐待を防ぐための研修を続けたい。
	41 どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	○		・児童との関わりは『交渉』『落としどころ』を探りながら行うため、身体拘束等が不要になることを基本としている。万一、障害特性により興奮状態になる児童については、クールダウン用の部屋を使う。計画書への記載は、必要に応じて行う。	・アンテナを高くして、虐待を未然に防ぐために、絶えず新たな軽微な事例を基に、共に考える機会を持つようにする。
	42 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	○		・現在無し。栄養アセスメント。医師からの診断を保護者から情報共有。	・今後も『栄養アセスメント』等を基に、日々の児童観察等絶えず注意して行うようにする。
	43 ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○		・法人としてデータの集中管理を行っている。事業所分については、その都度及び節目で振り返っている。	・軽微な『ヒヤリ』を無視しないように、互いに話題に合い、アンテナを高く持ち続けるようにする。

○ この「事業所における自己評価結果(公表)」は、事業所全体で行った自己評価です。

○ 「はい」、「いいえ」の欄は、数を記入するのではなく、職員による自己評価結果を踏まえ、職員全員で討議した結果について回答すること。(該当する方に○を記入)

集計事業所における自己評価結果(公表)

【放課後等デ

公表: 年 月 日

事業所名:ハート愛

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか		○		・児童が一斉に学校 たら着替え等しやす ・クールダウンがで 使っている。 ・クールダウンする ・利用人数が増えた ・クールダウンでき ているが難しい。) ) ・法人内他事業所と
	2	職員の配置数は適切であるか		○		・児童数が多いとき 不足を感じます。 ・配置基準は満たし なく感じることもある ・利用人数やその日 人一人への十分な る。 ・常勤がもう一人ほ 良等休めるように)
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか		○		・今のところは障害 度で良いと思います ・入り口等に段差が ・トイレ等足りない している。 ・ある設備で工夫を し改善策を考えてい ・児童の実態・特性
業務改善	4	業務改善を進めるための、PDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	○			・その日の活動の反 やれています。 ・都度活動の反省や 。反省だけで終わら
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○			・毎年、保護者の要 し、改善ができてい
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○			・毎年、公開資料を制 ホームページに開示
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	○			・監事に現場を見て 結果等の資料も添
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○			・事業所内研修、研 ・何よりもOJTを大
適切	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			・児発管を中心に、 検査結果等も参考
	10	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○			・毎年、S-M社会生活 時に、職員や保護者
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			・プログラム作成担 活動担当が分担・協
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○			・ガイドラインをさら に分けて、月の特徴 。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	○			・土曜、長期休業中 み上げが必要な活
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			・『活動』では、テー 中で個別対応をし、 る。

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点
な 支 援 の 提 供	15 支援開始前に職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○			<ul style="list-style-type: none"> <li>・できるだけ打合せ</li> <li>・直前になってしまう</li> <li>・やるよう心掛けてい</li> <li>・できてない日もあ</li> <li>ある。</li> </ul>
	16 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○			<ul style="list-style-type: none"> <li>・できている日とでき</li> <li>動案の反省にはサ</li> <li>・みんなで振り返り</li> <li>ブからの意見ももら</li> <li>・できている職員と</li> <li>ときは伝言する。</li> <li>・送迎等あり全員で</li> <li>して共有している。</li> </ul>
	17 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○			<ul style="list-style-type: none"> <li>・記録は取っている</li> <li>るので、改善につな</li> </ul>
	18 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○			<ul style="list-style-type: none"> <li>・常時、職員間で情</li> <li>モニタリング会議に</li> <li>にしている。</li> </ul>
	19 ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせる支援を行っているか	○			<ul style="list-style-type: none"> <li>ガイドラインの基本</li> <li>マの中でそれらを有</li> <li>うに工夫している。</li> </ul>

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○			児発管及び該当児。もちろん、全職員
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	○			・送迎時に担任から
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	○			・現在は医療的ケア的病気の服薬(与薬
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	○			・地域の児童発達支
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	○			・必要に応じて行っ
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○			・毎年、やまびこ医療支援の質の向上を図
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか		○		・今後は交流会がで ・コロナ禍以前で練 ・現在は実現できて
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	○			・児発管、管理者、
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○			・送迎の際、保護者 ・担当職員が中心と
保護者への説明責任等	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	○			・ペアトレに近い支 ・保護者・職員合同 ・的に必要に応じて情
	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○			・利用開始時に若し
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○			・相談があった際、 ・誰でも対応ができる
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	○			・計画的に保護者会 ・会を作り、好評を得
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○			・苦情とまではいか ・を高くして迅速な対
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○			・週報、月報を作成 ・法人の季刊の便り
	35	個人情報に十分注意しているか	○			・全員に共通する情 ・よって判断が異なる ・等活用し、年度初め ・ている。
	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○			・『相互障害状況』に ・分かりやすい環境』
37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	○			・4年ぶりに法人の『 ・秋祭り、ボランティア	

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点
非常時等の 対応	38 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	○			・『児童捜索マニュアル』等作成し、保護者等に周知している。
	39 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○			・避難訓練の反省を ・計画案、反省点を ・年間計画に基づき
	40 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○			・事業所内研修で、 ・外部研修や ・伝達研修を行って
	41 どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に十分に説明し理解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	○			・児童との関わりは ・身体拘束等が ・特性により興奮状態 ・部屋を使う。計画書
	42 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	○			・現在無し。栄養ア ・報共有。
	43 ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○			・法人としてデータの ・は、その都度及び節

○ この「事業所における自己評価結果(公表)」は、事業所全体で行った自己評価です。

○ 「はい」、「いいえ」の欄は、数を記入するのではなく、職員による自己評価結果を踏まえ、職員全員で討議した結果(記入)



## イサービス】

課題や改善すべき点を踏まえた  
改善内容又は改善目標

から帰ってきた際、もう少しスペースがあつ  
たいと思います。  
きるスペースは少ないが、共有スペース等を  
スペースが不足している。  
ので、机など増え、スペースは狭く感じる。  
る空間、確保ができない時もある。(工夫をし  
:全館を譲り合って活動の充実を図っている。

(一斉に学校から児童が来所されたとき)に  
ているが、児童や児童の特性によっては少  
い。  
の情緒にもよって、感じ方は日々違うが、一  
サポートを考えると足りないと感じることもあ  
しい。(勤務で調整しているが、研修・体調不

の重い児童はいないので手すりやロープ程  
あるが、スロープ等を設置している。  
ころもあるが、職員間で情報を共有し対応を  
している。不具合が生じた際は、全員で検討  
いる。  
等により諸改造をしてもらっている。

で省や良かった点等の話し合いを職員同士で  
ら一日の反省をできる日とできない日がある  
ないようにする。

望・意向等を基にして対応(フィードバック)  
る。(避難訓練等のより丁寧な報告等)

媒体で保護者に配付するとともに、法人のホ  
するようにしている。

いただくとともに、自己評価結果、保護者評価  
えて、口頭で評価をいただいている。

修会への参加を行っている。  
別に資質向上に努めている。

随時、アセスメントを丁寧に行うとともに、標準  
こしながら計画作成に当たっている。

能力検査を年度初め若しくは御利用開始  
に評価してもらっている。

当が作った原案を、全職員で検討した計画を、  
力して行っている。

こ細分化し、9分野(今年度『認知』分野追加)  
を生かしながら1か月のプランを立てている

はまとまった時間が必要な活動、平日は積  
動等を単元化して構成している。

マに基づいた集団活動を軸としながら、その  
『活動』時間以外では個別活動を保障してい

課題や改善すべき点を踏まえた  
改善内容又は改善目標

をするようにしている。  
日もあるが、できるだけ事前に打ち合わせ  
る。余裕を持って行えるようにしていきたい。  
るので、連携がとれるように必ず行うべきで

できていない日があるが、振り返りをしたり、活  
ブからの助言ももらっている。  
ができない日もあるが、支援日誌の反省でサ  
うようになっている。  
できていない職員がいる。送迎などで不在の  
行うことが難しくても翌日に掛けて振り返りを

が、反省の共有までできていないところもあ  
げられるようにしたい。

報共有をした上で、児発管及び児童担当が  
出席し、計画の見直しについて精査するよう

活動をさらに細分化し、各活動で決めたテー  
「機的に単元化して、生活に般化しやすいよ

課題や改善すべき点を踏まえた  
改善内容又は改善目標

担当が中心になって、参加するようにしてい  
る。事前の情報共有を前提にして。

その日の児童の体調や行動を聞くようにし

が必要な児童は在籍していない。(4)一時  
は行っている。

支援事業所と情報交換をしながら進めている

ている。

京福祉センターから定期的に指導を受け、支  
っている。

できるように計画していきたい。(2)  
っていた計画を実施できるようにしたい。  
いない。

当法人内の相談支援専門員が参加している

に状況をお伝えするよう心掛けています。  
なっており、都度話し合い、全員で把握できるよ

業を行っている。実施支援という形  
研修会や保護者の集い等で、若しくは個人  
情報提供、助言等を行っている。

くは必要に応じて説明している。

その児童の担当だけでなく、全員で共有し、  
ようにしている。

等を計画し、保護者同士の情報共有の機  
ている。

なくても、要望等については絶えずアンテナ  
応を心掛けている。

し発信している。  
も定期的に配付している。

情報はしっかりと守り、個人(保護者・児童)に  
ことについては、『『人権擁護ハンドブック』  
若しくはその都度調査・確認しながら対応し

により関係がぎくしゃくしないように、絶えず『  
作りに努めている。

『秋祭り』に外部の方を招待して実施できた。  
花壇等

課題や改善すべき点を踏まえた  
改善内容又は改善目標

マニュアル『感染症対応マニュアル』『防災マニュアル』に配付している。

保護者に配っている。  
訓練の参加の有無にかかわらず配付している。  
実施している。

管理者による指導とともに、研修受講者による。

『交渉』で『落としどころ』を探りながら行うた  
必要になることを基本としている。万一、障害  
児になる児童については、クールダウン用の  
への記載は、必要に応じて行う。

ヒアリング。医師からの診断を保護者から情

り集中管理を行っている。事業所分について  
項目で振り返っている。

について回答すること。(該当する方に○を